

アスペクト助詞“着”の実際の使用状況と文法教材への応用

三宅 登之

東京外国語大学外国語学部助教授

1. はじめに

持続相を表わすアスペクト助詞¹の“着”は、中国語の初級文法では必ず学習すると言ってよいほどの基礎的な文法項目であるが、初級文法の段階での“着”の提示の仕方はテキストによって様々である。今いくつか手元の初級テキストの実例を見てみよう。

(1)²

持続の“着”……動詞接尾辞。動作・作用の持続や状態の存続を表す。「～ている、～てある」

他看着电视呢。

瓶子里插着一朵花儿。

cf. 她穿着一件红大衣。〔状態の存続〕

她在穿衣服呢。〔動作の進行〕

このテキストでは、動作の持続を表わす例文が最初の“他看着电视呢。”であると思われるが、これでは下に参照として挙げてある副詞“在”を用いた「動作の進行」とはどのように異なるのかという疑問が生じる。次のテキストを見てみよう。

(2)³

動作・状態の持続

動詞＋“着”…（呢） （～している）

他戴着一条新领带。

他打着电话呢。

爸爸在沙发上坐着。

他在车站前边儿站着。

窗户关着呢。

「動作・状態の持続」ということは、“着”には「動作の持続」と「状態の持続」の2つ

¹ 「動態助詞」「時態助詞」「動詞接尾辞」等の別の名称を用いるテキストもある。本稿では「アスペクト助詞」という名称を用いるが、いずれの名称を用いても本稿の論旨には影響しない。

² 『中国語初級テキスト 北京の風[改訂版]』木村英樹・小野秀樹・陳蓉, 白帝社, 2000年, 99頁。

³ 『新編 例文中心初級中国語』牧田英二・楊立明, 同学社, 2003年, 48頁。

の意味があるということになる。その中でとりわけ本稿で議論していく「動作の持続」のケースは“他打着电话呢。”がその例であると思われるが、そもそもこのような文が頻度的に、また使用環境として「状態の持続」の場合とまったく同等に用いられるのかどうか、検討の価値がありそうである。またこのテキストではこの“着”の項目のすぐ前の箇所で行進を表す副詞“在”を提示しているのであるが、その中に“爸爸正在打电话呢，你安静点儿。”という用例がある。これでは学習者は「電話をかけているところだ」という事態は“打着电话呢”で表わすのか、それとも“正在打电话呢”なのかという点で混乱してしまう恐れもある。

本稿では、アスペクト助詞“着”の文法的意味は何かというような理論的テーマよりも、むしろ“着”は実際の中国語ではどのように用いられているかという面に重点を置き検討していく。そして“着”のその実際の使用状況に基づいて、初級文法の段階で“着”をどのような形で提示すればよいかを考えてみたい。

2. 実際のテキストにおける“着”の提示情況

本稿ではまず、このような初級段階で必ず出てくるアスペクト助詞“着”について、実際に初級用テキストでどのように提示されているかを調査した。具体的には、手元にある合計33種の市販されている初級用中国語テキストをサンプルとして、その中で“着”が文法項目として提示されている箇所を探し、文法解説の箇所に提示されている例文をすべて収集した。以下ではそのすべての例文を、その“着”の表している意味と用いられている文型に基づいて、(A) 静態義、(B) 動態義、(C) “V₁着+V₂”の形、(D) 存在文の形の4つに分類して列挙した。「静態義」「動態義」の意味するところについては後述する。例文の後に括弧の数字があるものは、その同一の例文がその数字の回数出現したという意味である。

(A) 静態義

她今天穿着一条很漂亮的裙子。

她穿着一条牛仔裤。

他穿着新衣服。

他穿着漂亮的衣服。

她穿着厚厚的羽绒衣。

她带着手表。

你带着钱呢吗？

他戴着一个很奇怪的眼镜。

他戴着一副近视眼镜。

我等着你，别着急。

他在屋子里等着你。

她穿着很漂亮的衣服。

她穿着一件红毛衣。

她穿着一件白色的衬衫。

今天他穿着一件中山装。

你带着照相机呢吗？我没带着。

下雨了，你带着伞吧。

他戴着一条新领带。

他没戴着戒指。

她等着你呢，快去吧。(2)

有人等着你呢。

快走，他们等着我们呢。

我在这儿等着。
中山在教室里等着她。
你跟着我，别落下。
窗户关着呢。
门开着呢。(2)
门开着，可是家里没有人。
门开着呢吗？
门开着呢，请进。
你拿着。
他拿着一张照片。
他在床上躺着。
你别起来，躺着吧。
老师站着，学生坐着。
快坐下，别站着。
坐着
你坐着。(2)
你坐着，我去沏茶。
你坐着吧。我马上就回来。

(B) 動態義

笑着
吃着饭
你听着！
他看着电视呢。
他说着话呢。
他默默地凝视着窗外。
他们开着会呢，你等一会儿再来吧。
他们正开着会呢。
他正说着话呢。
他正穿着衣服呢。
他们正看着足球比赛。
他正在听着广播呢。
我们正说着话，小刘进来了。

(C) “V₁着+V₂” の形

坐着吃饭

她等着你。
你干吗老躲着我？
你跟着我。
门开着。
门都开着。
窗户开着。
电视没开着。
窗户没开着。
他拿着一本书。
你手里拿着什么呢？
她在床上躺着呢。
她站着。
他在车站前边儿站着。
他在图书馆前边站着。
她坐着。
他们都在椅子上坐着。
爸爸在沙发上坐着呢。(2)

跑着
他写着字。(2)
你看着我的眼睛！
他看着书呢。
他们谈着话呢。
他打着电话呢。
他正等着你呢。
他来的时候，我正在打着电话呢。
现在正上着课呢。
他正吃着饭呢。
他们俩正在下着棋呢。
你等一下，他正穿着衣服呢。

坐着看电视

站着讲课

他站着看书。

他经常躺着看书。

我走着去。

我们走着去吧。(2)

她们带着孩子去公园玩儿了。

他站着打电话。

孩子们躺着看书呢。

躺着看书对眼睛不好。

他们是走着去的，没坐汽车。

我们喝着咖啡听音乐吧。

他忙着打扫房间。

(D) 存在文の形

墙上写着字。

桌子上放着照片。

桌子上放着很多新书。

桌子上放着一架照相机。

房间里放着一个大沙发。

墙上挂着中国地图。

公园里种着很多樱花树。

他旁边儿站着一个人。

瓶子里插着一朵花儿。

黑板上写着字。

桌上放着一台收录机。

桌子上放着五本书。

桌子上放着一本字典。

墙上挂着一幅地图。

墙上挂着一张地图。

信里边夹着一张相片。

头上戴着一顶帽子。

(A) と (B) は“着”自体の文法的意味，(C) と (D) は使われる文の文型というように，いわば二重の基準になっているのであるが，実際にテキストでは“着”の提示の箇所 (C) と (D) の用法について紹介されることが多いので，そのまま分類した。本稿で議論の焦点を当てたいのは，(A) と (B) の“着”自体の文法的意味の内，(B) の動態義のほうである。ここでは，(B) の用例の中の多くに，動作の進行を表す副詞“在”“正”“正在”や語気助詞“呢”などが含まれている点に注意したい。その意味合いについては後述する。“着”の動態義は文法的意味としては存在するのであるが，それが実際の中国語でどのように使われているか，またその使われ方が初級テキストに正確に反映されているかという点について，本稿では考察していきたい。

3. “着”が表すことができる意味

本稿では“着”の実際の使われ方を検討するが，まずここでは“着”の文法的意味を確認しておきたい。

大枠でくくると“着”は「持続」を表すと言えるが，その「持続」の中身は「状態の持続」と「動作の持続」の2つに分類できる。

「状態の持続」は先行研究によっては「その動作事態の静的な持続」と，「動作を行った後に残存する結果状態の持続」の2つに分けている場合があるが，本稿ではいずれも「静态義」にまとめた。次のような例が該当する。

(3) 门开着呢。 / 他穿着一身新衣服。(吕叔湘主编(1999)『现代汉语八百词(增订本)』商务印书馆)

「動作の持続」は、典型的には可視的な動きのある動作行為が持続している場合を指す。先行研究では「進行」義としているものもあるが、本稿では進行義は副詞“在”“正”“正在”などが担っている意味であり、“着”は持続を表すと考え、「動態義」として扱う。次のような例が該当する。

(4) 人们跳着，唱着 / 妈妈读着信，脸上露出高兴的神色 / 雪正下着呢 / 他们正看着节目呢 / 一场热烈的讨论正在进行着(『八百词』)

(5) 大家正在议论着新来的厂长 / 锅里正煮着茶叶蛋 / 妈妈在晾着衣服(张斌主编(2001)『现代汉语虚词词典』商务印书馆)

(6) 敲着锣，打着鼓 / 孩子们跳着蹦着走进学校 / 他们在大声唱着歌 / 一个人在屋里看着书，听着音乐 / 等会儿，我洗着头呢(侯学超编(1998)『现代汉语虚词词典』北京大学出版社)

繰り返しとなるが、本稿では主要にはこの動態義の方を問題としたいので、特に主要な工具書3点から例を引用した。ここにおいても、先ほどのテキストでの用例と同様に、用例中に副詞“在”などが混在している点に注目したい。

4. “着”はどのように用いられるか

“着”がどのような文法的意味を表すことができるかという点はそれはそれで先行研究も多く、興味深い問題ではあるが、本稿では以降はそのような意味を有する“着”が、実際の中国語の中でどのように用いられているかを考察する。まず“着”の使用環境について言及している先行研究から、関連の記述をいくつか検討する。

4.1. 刘等(2001)

刘等(2001)は““着”的用法”の箇所では“着”の用い方を次のようにまとめている。⁴

(7)

(A) 状態の持続(静態義)

A1. 連動文の第一動詞 我微笑着淡淡地说。 / 他闹着让我带他出去玩儿。

A2. 存在文 墙上挂着一幅山水画。

(B) 動作の持続(動態義)

B1. 命令文 你先歇着，我出去看看。

B2. 動作の持続の叙述 交通艇嗖嗖地向前疾驶着。

B3. 说着～ (狼)说着，就向东郭先生扑去。

B4. V着V着 孩子哭着哭着睡着了。

(C) その他 有着 / 代表着 / 充满着

⁴ (A) (B)等の分類に際しての記号は本稿の筆者が便宜上付した。

以上のような分類の後、B2. の動作の持続の箇所（注）で小説から長い用例を引用した後、次のような興味深いコメントを述べている。（下線は本稿の筆者。）

(8) 例④(略)は張承志の小説《北方的河》中一章开头的一段，其中有不少表示动作持续的“着”，这是表示动作持续的“着”的典型用法。这样用的“着”通常都出现在文学作品故事展开前的背景描写中，即不是在叙述动作的进行。也就是说，表示动作持续的“着”的功能主要仍然是描写。在一般口语中，很少这样用“着”。因此对不想写小说的人来说，很少用到这个“着”。

ここで述べられていることを一言でまとめれば，“着”には動態義があるにはあるが，実際に自由に用いられるのではなく，その使用には大きな制限があるということになる。口語ではあまり用いられず，小説などのストーリーが展開する前段階の背景描写で用いられるのが主であるということである。

4.2. 陈(1980)

実際に文学作品を対象として，どのような“着”がどの環境で用いられているかを調査したのが陈(1980)である。

(9) 状态持续态是附“着”动词作为主要动词的典型用法，而动作持续态极少用于主要动词。

作品	助词 “着” 总数	主要动词		占总数 的%	用在 状语 中的	占总数 的%	用在从 句中的	占总数 的%	表祈 使语 气的	占总数 的%
		动作 持续	状态 持续							
赵	184	1	32	17.93	135	73.37	4	7.61	2	1.09
舍	645	10	170	27.91	227	35.19	235	36.43	3	0.47
鲁	228	16	85	44.30	84	36.84	42	18.43	1	0.43

赵：赵树理《李有才板话》《小二黑结婚》《传家宝》《登记》 / 舍：老舍《骆驼祥子》 / 鲁：鲁迅《彷徨》

(9)は，3名の作家の作品に出現したアスペクト助詞の“着”をすべてカウントし，その出現した環境ごとに分類したものである。“主要动词”とは動詞句1つが述語に位置したもの，“状语”はここでは連動文の第一動詞を，“从句”は複文の従属句，“表祈使语气的”は命令文を指す。“主要动词”に出現する“着”の数を見ると，“着”を伴った単独の動詞述語文は意外に大きな割合は占めておらず，さらにその中でも動作持続（動態義）は状態持続（静態義）に対して数が非常に少ないことがわかる。例えば北京語の使用者である老舍の“着”を伴った動詞述語文の内訳は，動態義が10例に対して静態義が170例である点などに注目したい。

4.3. 刘(1985)

刘(1985)では、曹禺の戯曲の中に出現する“着”を調査し、場面や舞台の解説をするト書き部分のほうが、登場人物の会話の部分よりも、“着”の使用頻度が高いことを示している。

(10)

篇目	分类	总字数(约)	“着” 次数	频率%
雷雨	场景描写・舞台提示	15000	230	1.53
	人物语言	83000	168	0.2
日出	场景描写・舞台提示	16000	344	2.15
	人物语言	82000	143	0.17
北京人	场景描写・舞台提示	16000	610	3.81
	人物语言	80000	141	0.18

5. 動態義の“V着”の性質

5.1. “V着”の非自立性

以下では主に動詞“V”が“着”を伴った“V着”が動態義を表す場合、どのような性質を帯びるかを検討しよう。まず、“V着”を伴った文はそこで文を言い切ることができず、統語的に自立しえない、いわば「非自立性」とでも言うべき性質を持っているという指摘が少なくない。

5.1.1. 陈(1980)

陈(1980)によると、動態義の“V着”が述語となった以下のような文では、それぞれa.の形では文が言い切りにならず、文が成立するためにはb.のように後に続く内容が必要であるという。

(11)a. ?他们开着会

b. 他们开着会，外头下起雪来了

(12)a. ?外头下着雪

b. 外头下着雪，可一点也不冷

(13)a. ?一场热烈的讨论进行着

b. 一场热烈的讨论进行着，到深夜还没结束

(14)a. ?她唱着《我爱北京天安门》

b. 她唱着《我爱北京天安门》走上台去

そしてそれぞれのa.は、ある状況を提供しただけで、その状況の下で起こった出来事は

まだ言われていないという語感を与えるという。

5. 1. 2. 刘(1999)

刘(1999)にも同様の指摘が見える。“V着”が述語となった下のa.のような例は不成立でそれぞれb.のような形をとる必要があるという。

(15) a. *我们说着话。

b. 我们说着话，天就黑下来了。

(16) a. *下着雨。

b. 天这么黑，又下着雨，我看就别去了。

またそもそも動態義を表わすためには“V着(0)”よりも“V(0)呢”を用いるという。“V着(0)”は単独では使い得ないということである。

(17) a. *睡着觉

b. 睡觉呢

(18) a. *洗着衣服

b. 洗衣服呢

(19) a. *做着功课

b. 做功课呢

5. 1. 3. 马(1987)

马(1987)は、『现代汉语八百词(增订本)』にある(4)の内の1例

(20) 一场热烈的讨论正在进行着。

について、このような文は書面語であり口語で実際に用いられる言い方とは非常に距離があるという。北京方言の口語では、動作の進行は副詞を用いる他に、主要には文末に語気助詞“呢”を用いて表すという。

(21) 我们干活儿呢。

(22) 小李遛弯儿呢。

さらには、進行（動態義）を表す動詞は“着”を伴わず、状態（静態義）を表す動詞だけが“着”を伴うのが実際の口語の状況であり、この点が書面語との大きな違いであると述べている。

5.2. “V着”の背景化

5.2.1. “着”の背景化作用

上で述べたように, “V着”は非自立的で, 後半に他の成分を伴うのが常であるが, このような“V着”を含む側の成分は意味的には背景となり, 後半部分を前景化させる役割を担っている。刘(1999)によると次のような文において,

(23) 吃着饭, 又把那件事商量了一下。

(24) 我冒着大雨, 等你俩钟头。

前半部分の(それだけでは自立しえない)“V着(0)”は背景条件や状況を提示しており, 文全体ではこのような背景や状況の下で何が起こったかを述べているという。

また, 荒川(2003)によると,

(25) 东郭先生赶着驴, 在路上慢慢地走着。

(26) 张老师像雷一般地打着呼噜。

(27) 枪声的回音在山谷中反复振荡着。

これらは統語的には独立しているものの, 使われる環境が限られており, 文章, 特に小説の地の文においてよく使われ, その後に書かれた出来事の背景となっているという。連動文の“V着V”の“V着”も後の動詞の背景となっているし, 次のような複文でも

(28) 我们正说着话, 他来了。

“我们正说着话”の部分は, “他来了”という出来事があつたときに, その背景を示しているという。方(2000)も“V着”を含んだ動詞述語文が, 談話全体の中で背景情報となっていることを指摘している。

関連して指摘すれば, 動態義の“V着0”はその非自立性ゆえに独立しないが, 文末に語気助詞“呢”を付けると一応は文が成立する。しかしこの動態義の“V着0呢”は使われる環境が一定の場面に限られている。

(29) A: 来电话了, 你接一下电话。

B: 我做着饭呢。

このBの“我做着饭呢。”は, 自分は食事を作っている状況にあるので, 電話に出ることが

できないという意味を表すという。⁵これはいわば動態義の“V着”を含んだ文が,文末に“呢”が付くことによって統語的には独立するものの,語用論的には依然として背景のままであり続け,この発話によって本当に聞き手に伝達したい主要な意図を前景化させているのであると解釈することができる。

5.2.2. “V着”の様々なレベルでの背景化

以上の指摘をまとめると,動態義の“V着”はそれを含む部分を背景化させる作用をもち,それは句から節,そして文章全体へと様々なレベルで認められると考えられる。(30)はその状況を図式化したものである。動態義の“V着”はそれ自身が様々な成分の中心に来ることは基本的にはないのであって,教材を作成する際もそのような実態を反映させる必要があると言えるであろう。

(30)

	背 景	前 景
句	走 着	去
↓		
節	我们说着话,	天就黑下来了。
↓		
文章	东郭先生赶着驴,在路上慢慢地走着。	驴背上驮着一个口袋,口袋里装着很多书。忽然从后边跑来一只狼,慌慌张张地对东郭先生说:“仁慈的先生,救救我吧!打猎的在后边追我,要把我打死。……”……(东郭先生和狼『基础汉语课本第四册』)

6. コーパスを用いた調査

6.1. 使用コーパス

本稿では,以上のような“着”の性質が実際の中国語に現れているかどうかを,コーパスを用いて調査した。今回調査対象にしたコーパスは『当代北京口语语料』(北京语言学院语言教学研究所,1993年)である。

これは,北京を6つの地区に分け,それぞれの地区から,職業・年齢・民族の異なる計374人の人を抽出し,6つの話題についてインタビューを行い,その自由回答の発言をそのまま忠実に記録したものである。言い間違いなどもそのまま記録した口語のコーパスであ

⁵ “V着0呢”のこのような性質については,刘(1999),马(1987),陳(1997)を参照。

る。テキストファイルにして合計およそ180万字の分量であるが、今回の調査ではそのうち東城区の部分のデータ合計約318,000字を調査対象とし、その発話の中に出現するアスペクト助詞“着”を調べた。

6.2. 調査結果

調査の結果、東城区のデータ中での“V着”の総出現数は472であった。それを動詞“V”に基づいて分類し、出現回数の多い“V着”は何かを調べた。以下は出現回数の多い“V着”の第1位から上位13位までの結果である。

(31)

V着	出 現 回 数	例
带着	36	我自己呢，曾经带着自己的小孩儿，到北戴河去玩儿了一次。
跟着	31	啊，因为有些家长呀，我们一带孩子出去玩儿去，他们甚至于后面儿偷偷跟着，看着自己的孩子。
看着	28	啊，尽管它这长城也是人工建造的哈，一个它，我觉得特别这个，嗯，看着特别壮观。
帮着	15	退休以后在，家里能，帮着干这一般的，家务事儿，能，照顾一下，我哥哥的小孩儿有时候儿。
呆着	15	在家呆着吃饭哪，这这这吃饭的问题都解决不了，还交学费？
坐着	15	屋里，在屋里坐着也是发抖啊，不许，不想干别的事儿。
拿着	14	后来半道儿上呢，又碰上几个当兵的，他们呢，拿着录音机，放着流行歌曲，还，还，还觉得挺有意思，挺热闹的。
等着	13	就是，嗯，就是，现在还等着分房呢。
活着	10	像那个我爱人的奶奶吧，现在也活着呢。
想着	8	在这个时间，在这一段儿时间里呢，我也总想着能够多学点儿东西啊，嗯，学好了，把这一天的工作，一天的生活，让它充实起来。
写着	8	青年湖哇，出城往往往西北走，出城那个就是那，就往北走有一个牌子，写着青年湖公园进去就是。
站着	8	就是有那么，你看我们坐满了，大车是二十八个座儿，然后站着那么十几个人儿吧，是哈，不到五十人。
指着	7	嗯，我母亲，还有一个，还有一个祖母，都在一块儿生活，指着我父亲，靠小学教师那点儿薪，那点儿薪金。

この上位13位の“V着”だけを見てもすぐにわかるのは、これらはすべて基本的には静態義を表すものばかりであって、動態義の“V着”は頻度数上位にまったく顔を出していない

ということである。“带着”（持っている）“跟着”（付き従っている）“拿着”（持っている）は言うまでもなく可視的な動きのない静態義である。“看着”（見ている）は先行研究では動態義にするものも実は少なくないが、「見ている」という状態が持続している際、身体に目立つ動きはなく、静かな状態が持続しているわけであり、意味論的には静態義であると考えべきである。“帮着”（手伝っている）では、人の手伝いをしている際には具体的な何か個別の動きをしている可能性もあるが、“帮”という動詞自体は、そのような個別的动作を超えた、抽象的な関係として捉えている表現である。“呆着”（じっとしている）は文字通りじっとしている状態である。“坐着”（座っている）“写着”（書いてある）“站着”（立っている）の三者は語彙アスペクトの面からは同じ類に属する。これらは、“坐着”を例にとれば、立っている状態から腰を下ろしつつある動きのある動態の段階と、座り終えた後、動きがなく座っている状態が持続する静態の段階の2つを兼ね備えている動詞である。従って理論的には、“坐着”が「腰を下ろしつつある」、「写着」が「書いている」、「站着」が「立ち上がりつつある」という動きのある段階を指すことも可能と思われるが、実際には(31)の例にあるように、「座っている」「書いてある」「立っている」という静的な状態の持続を表す例がほとんどである。“等着”（待っている）“活着”（生きている）も、実際には動作主は個別の他の動作をしているかも知れないが、これらの動詞自体はある種の抽象的な状態を表している。“想着”（思っている）⁶は心理活動動詞であり、心理活動は外からは動きの見えない静態義である。“指着”（頼っている）は「あてにする、頼る」という意味項目であり、これも明らかに二者の関係を表しており、静態義に属する。

以上のことから、“着”は動態義と静態義の2つの意味を表すことが可能であるといえども、コーパスを調査した結果、実際に使われている話し言葉では、動詞がアスペクト助詞“着”を伴ったもので常用されるのはほぼすべてが静態義のものであって、動態義のものはほとんど用いられていないということがわかる。

6.3. 動態義の“V着”か？

さて、実はコーパスの中にも動きのある動作行為を表すと考えられる動詞が“着”を伴っている例がないわけではない。ではこれらの“V着”は実際にはどのように用いられているであろうか。動きのある動作行為を表す動詞が“着”を伴っている実例をいくつか拾って検討してみよう。

動詞=“吃”の例：

(32)就等于在家里就怎么着哈也得是吃着父母，有点儿不忍心，不落忍。

動詞=“开(车)”の例：

(33)嗯司机一人儿在上头开着，连乘客带售票，都下来推车，……那时候儿比较那什么。

⁶ “想着”には北京方言で「忘れずに～する」という意味項目もあるが、このような場合は(31)の数からは排除されている。

動詞=“跑”の例：

(34) 小的那小的时候儿，满街上跑着玩儿。

動詞=“骑(平板车)”の例：

(35) 是哇，我那个，骑着骑着呢，这个，先扔了两回呢，慢慢儿能凑合上大街了。

動詞=“推”の例：

(36) 嗯，完后，推着车给老头儿给送到那地方儿。

動詞=“煮”の例：

(37) 一买好几个猪头，煮着吃。

動詞=“走”の例：

(38) 我说这车太受罪还不如走着舒服呢。

これらが、動きのある動作行為を表す動詞が“着”を伴っている例である。“吃”は典型的な動きのある動作行為を表す動詞と言えようが、(32)での“吃父母”は言うまでもなく「両親を食べる」のではなく、「両親に頼って食っていく(生活する)」というように、具体的な「食べる」という行為から、「生きる、生活する」という抽象度が増した意味に変化している。また、他の多くの例は連動構造などの前半部分に生起し、後半に対する背景となっている点に注意したい。(34)“跑着”+“玩儿”，(36)“推着车”+“给老头儿给送到那地方儿”，(37)“煮着”+“吃”，(38)“走着”+“舒服”などすべてそうである。また、(33)は複文というレベルにおいて、“司机一人儿在上头开着”(運転手は車中で運転しながら)が、他の乗客たちは降りて後ろから押したということの背景となっている。残る(35)は、“V着V着”の形で後半部分の出来事が起こる前提となる状態を述べているのである。

このように、このコーパスの中には動きのある動作行為を表す動詞が“着”を伴っている例もあるにはあるが、その例を見ると基本的には後半部分に対する背景としての役割を担っているか、もしくは他の意味項目で用いられており具体的な動作の意味は持っていないかのどちらかであり、“V着”が単独で述語になった動詞述語文として動態義を表しているものは極めて少ないと考えられる。

6.4. “在V着”について

動態義と関連してしばしば言及されるのが、“着”と、進行を表す副詞“在”の併用である。これまで述べたような、非自立的な動態義の“V着”の自立性を増す手段として、その前に進行を表す副詞“在”“正在”“正”を併用すれば文が成立するという指摘は多い。また、この点は事実としては事実であろう。

ところが、ではこのような形式がいったいどのくらいの頻度で実際の中国語(特に口語)で用いられているかを知るために、本稿のコーパスにおける“在V着”“正在V着”“正V着”の出現を調査したところ、該当する例は1例も存在しなかったのである。⁷これは“在V着”

⁷ “在”+場所を表す語句+“V着”は除く。

“正在V着”“正V着”という形式が、文法的には正しいものの、実際の口語ではまずほとんど用いられていないという事実を意味する。⁸

ところが初級テキストの調査結果を見ると明らかなように、“着”を提示する項目の用例で、“在V着”“正在V着”“正V着”のタイプを用いているものが少なくない。2.で述べた調査結果の「(B) 動態義」の箇所の例を見ると、そのような例の多さに驚く。実際に用いられる頻度がほとんどないような形式を、初級文法の段階の用例として提示することは、学生に過度な負担を強い、学習の効率を下げるだけであるから、ぜひ改めるべきであると考ええる。

7. 結論にかえて——テキストでの提示例試案

7.1. 留意すべきポイント

さて、これまで述べてきたことから、初級テキストの文法項目で“着”を提示する際に留意すべきポイントをまとめると、次の3点になるのではないと思われる。

(39)

- ①(i)動詞述語文での“着”，(ii)連動文での“着”，(iii)存在文での“着”，の3者に項目を厳密に区分し、かつ相互にリンクさせる。
- ②動詞述語文での例は静態義しか扱わず、動態義の例文は提示しない。
- ③副詞“在”“正在”“正”と併用した例は提示せず、これらの副詞は動作の進行の箇所で提示し、持続の“着”とは区別する。

①は“着”が実際に用いられている環境によって区分したものである。(i)の動詞述語文が基本となり、これが(ii)連動文や(iii)存在文という構文においてもよく用いられるということである。従来のテキストでも実際には“着”の箇所で(ii)連動文や(iii)存在文について言及されているのは、2.での調査結果の示すところである。実際この3者は文法項目としては別物で、別の箇所で提示されることになるであろうから、学習者が“着”が使われる環境を把握し復習しやすいように、それぞれがテキストのどの箇所で学習する項目かを確認しやすくするのが望ましい。

②と③は内容的には関連するが、いずれも本稿でのコーパス調査の結果が示す言語事実を、初級テキストの文法項目の提示の仕方にも反映させようという考えに基づいている。

さて、これらのポイントに基づき、以下ではテキストでの“着”の提示の仕方について、想定されるモデルケースを示してみよう。

⁸ 先行研究においても、例えば陸1998では次のように、“在V着”の形式の不自然さについて指摘をしている。

“在”和“着”似很少叠用，一般不说：

?他在学着。?我在吃着饭。?他在洗着衣服。

7.2. 提示のモデルケース

以下に，“着”を初級文法項目として提示する際のモデルケースを示す。

(40)

第 x 課 動詞＋“着”～状態の持続を表す

他在沙发上坐着。

他在床上躺着。

我去的时候，发现门开着。

房间里没有人，门都锁着呢。

今天她穿着一件很好看的衬衫。

◎他に“着”を使うケース

- 動詞₁“着”＋動詞₂で（☞第 y 課）
- 存在文で（☞第 z 課）

第 y 課 動詞₁＋“着”＋動詞₂ の形（☞第 x 課）

動詞₁“着”[付帯状況]＋動詞₂[動作]

她抱着孩子去医院。

躺着看书对眼睛不好。

这个东西炒着吃。

开着窗户睡觉很凉快。

第 z 課 存在文（☞第 x 課）

場所/時間＋動詞“着”＋人/物

墙上贴着一张中国地图。

桌子上放着一本词典。

床上躺着一个病人。

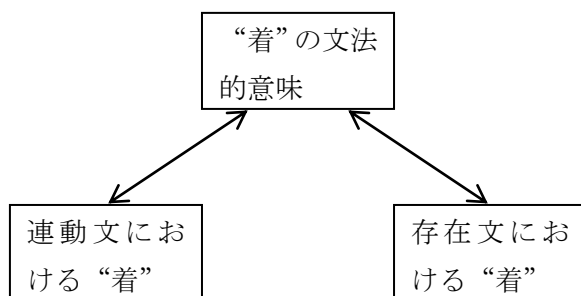
客厅里坐着两位客人。

(39)で述べた点に基づき、まず“着”の出てくる項目を3つに分ける。上記の例で言えば、第 x 課で動詞述語文における“着”自身の解説、第 y 課で連動文に用いられる“着”，第 z 課で存在文に用いられる“着”である。それぞれ別個に提示しつつも、連動文や存在文を学習する際、そこで用いられている“着”が本来どのような文法的意味を持つ成分なのかを常に参照できるように、また“着”本来の意味を学習する際にも、それが一般の動詞述語文以外に、どのような構文で常用されるかも参照できるように、相互をリンクさせると便利である。（関係図を(41)に示す。）

また、第 x 課で“着”とはどういう意味を表すものかを示す際、提示する例文はすべて動きの静かな状態の持続（静態義）のものにし、動きのある動作の進行（動態義）の例は

たとえそのような例が文法的に作れたとしても提示しない。また、動作の進行を表す“在”“正在”“正”を提示する課と明確に差別化するため、さらには実際の使用頻度が極めて低いタイプの用例を排除するため、動詞が“着”を伴いながら副詞“在”“正在”“正”が共起した「“在” / “正在” / “正” + 動詞 + “着”」の形の用例は扱わない。

(41)



7.3. 実際のテキストでの提示例

最後に、実際のテキストで筆者がこれまで述べた考えをどのように実践しているかを紹介しよう。テキストは次のものである。

(42) 『公式でわかる初級中国語』 三宅登之・張国璐・石黒ひさ子，朝日出版社，2005年4月1日初版発行。

以下，“着”に関連する文法項目の箇所を抜粋する。

第10課 文法 2 (55ページ)

動詞₁ + “着” + 動詞₂の形 link 第4課4，第16課2

公式

動詞₁ “着” [付帯状況] + 動詞₂ [動作]
「～しながら (しておいて) ～する」

她抱着孩子去医院。Tā bàozhe hái zǐ qù yīyuàn.

躺着看书对眼睛不好。Tǎngzhe kàn shū duì yǎnjīng bù hǎo.

开着窗户睡觉很凉快。Kāizhe chuānghu shuìjiào hěn liángkuai.

第16課 文法 2 (80ページ)

状態の持続を表す“着”

他在沙发上坐着。Tā zài shāfā shàng zuòzhe.

我去的时候，发现门开着。Wǒ qù de shíhòu, fāxiàn mén kāizhe.

房间里没有人，门都锁着呢。Fángjiān lǐ méi yǒu rén, mén dōu suǒzhe ne.

今天她穿着一件很好看的衬衫。Jīntiān tā chuānzhe yí jiàn hěn hǎokàn de chènshān.

☞他に“着”を使うケース

{ 動詞₁ “着” + 動詞₂ で link 第10課2
 { 存在文で link 第18課1

第18課 文法 1 (87ページ)

存現文 (1) 存在文

公式

場所/時間 + 動詞 + “着” + 人/物

墙上贴着一张中国地图。Qiáng shang tiēzhe yì zhāng Zhōngguó dìtú.

桌子上放着一本词典。Zhuōzi shang fàngzhe yì běn cídiǎn.

床上躺着一个病人。Chuáng shang tǎngzhe yí ge bìngrén.

以上述べてきたことが本稿の考える“着”の提示方法である。ただ本稿で述べたこと以外にも、類似した意味を表す進行相の副詞“在”“正在”“正”とどのように区別して教授するかという点や、語気助詞“呢”との共起の問題、さらにはどのような練習問題が効果的かなど、様々な問題点が残っているので、今後の検討課題としたい。

参考文献

岑玉珍(1998)「“着”字句的教学探讨」, 赵金铭等编『对外汉语教学探讨集』, 北京大学出版社。

陈刚(1980)「试论“着”的用法及其与英语进行式的比较」, 『中国语文』第1期。(杨自俭等编1990『英汉对比研究论文集』, 上海外语教育出版社。)

方梅(2000)「从“V着”看汉语不完全体的功能特征」, 『语法研究和探索(九)』, 商务印书馆。

刘宁生(1985)「论“着”及其相关的两个动态范畴」, 『语言研究』第2期。

刘一之(1997)「现代汉语助词“着”的语法意义及其来源」, 『聖徳学園岐阜教育大学紀要』第33巻。http://els.nii.ac.jp/pdfout.php3?1099637277

——(1999)「北京口语中的“着”」, 『语言学论丛』第22辑, 商务印书馆。

——(2001)『北京话中的“着(・zhe)”字新探』, 北京大学出版社。

刘月华(1992)「“着”的用法」, 郑懿德、马盛静恒、刘月华、杨甲荣(1992)『汉语语法难点释疑』, 华语教学出版社。

刘月华、潘文娉、故韡(2001)『实用现代汉语语法(增订本)』, 商务印书馆。

陆俭明(1998)「关于北京话里的“着(・zhe)”」, 『京都産業大学国際言語科学研究所所報』第19巻。

——(1999)「“着(・zhe)”字补议」, 『中国语文』第5期。

马希文(1987)「北京方言里的“着”」, 『方言』第1期。(『逻辑・语言・计算——马希文文选』商务印书馆, 2003。)

钱乃荣(2000)「体助词“着”不表示进行意义」, 『汉语学习』第4期。

- 三宅登之(1994)「关于“着”表示的语法意义」,『県立新潟女子短期大学研究紀要』第31集。
- 荒川清秀(1985)「“着”と動詞の類」,『中国語』No. 306。
- (2003)『一步すすんだ中国語文法』,大修館書店。
- 陳淑梅(1997)「談話文におけるアスペクト助詞「着」の位置:動作の進行を表す「着」を中心に」,『慶応義塾大学語学視聴覚教育研究室紀要』29。
- 讃井唯允(2000)「“在等”“等着”“在等着” — “在”と“着”の文法的意味と語用論」,『人文学報』第311号。